

平成31年度 南区組織目標

組織名	南区	区長	渡辺 稔
組織の目的・方向性	南区では、大地の恵みである南区産農産物の活用やPRを行うとともに、南区の伝統・文化の魅力や価値を高める取り組みにより、交流人口の増加を図ります。また、郷土愛をはぐくむ事業やまちづくり事業への支援により、区の活性化を図りながら、区民がいきいきと、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めます。		

南区組織目標

南区には、豊かな農産物や長い歴史に培われた伝統文化など、多くの地域の魅力があります。これらの地域力を活かした取り組みを推進することで、区ビジョンまちづくり計画に掲げた区の将来像『大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち』の実現を目指します。
この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域住民との協働で、安心できる減災に向けたまちづくりを進めます。
- 2 区民の健康意識の醸成に努め、特定検診受診者数の増加を図ります。
- 3 コミュニティ協議会やにいがた南区創生会議などとの協働を深めるとともに、区内公共交通の利便性向上などに取り組むことにより、まちなかの活性化を図ります。
- 4 地域の特産品のブランド化を推進するとともに、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります。
- 5 南区の農産物や観光資源、地域固有の文化資源等を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	2
取組結果	11月の南区総合防災訓練では、3,902人という過去最高の参加をいただきました。さらにミニドック型集団健診では受診者数目標を達成できました。 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、3つの目標が達成に至りませんでした。影響がなければ目標は概ね達成水準にあったと評価しています。				
今後の方向性	今後は区民が地域力・市民力を発揮しやすい環境整備に向けて、地域や団体と協働しながら取り組んでいくとともに、区民一人ひとりが住みなれた南区で互いに支え合って、いきいきと安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。				

平成31年度 南区組織目標に掲げた重点目標の指標一覧表

1 地域住民との協働で、安心できる減災に向けたまちづくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
1	地域総務課	地域住民との協働で、安心できる安全なまちづくりを進めるとともに、空き家の適正管理と利活用を進めるため空き家対策プロジェクトに取り組みます。	・南区総合防災訓練の実施 ・自主防災組織の訓練実施 ・中学校防災教室 ・高校生災害ボランティア育成	総合防災訓練参加数(人)	1,243	1,855	3,163	3,500	3,902	・南区総合防災訓練の参加者数は、各地域の自主防災訓練と本部訓練等の総参加者数。 ・自主防災訓練は、単独、連合、コミ協単位を含め、22組織が自主防災訓練に取り組み、残る1組織は実施に至りませんでした。	・11月17日に南区総合防災訓練を実施し、同日に自主防災訓練を実施いただいたコミ協や自主防災会が多く、過去最高の3,902名の参加がありました。 ・空き家無料相談会を9月8日と3月8日の2回計画、9月は実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3月は延期の判断をしました。	概ね達成
			・空き家相談会の開催 ・地域との情報共有 ・空き家の利活用に向けた仕組みづくり	自主防災組織全23組織の訓練実施	23	23	23	23	22			
2	産業振興課	消費者に安心・安全な農産物を届けるために、環境保全型農業を推進します。	・資源循環事業 ・環境保全型農業直接支払交付金事業 ・多面的機能支払交付金事業	田んぼダム実施面積(%)	2,834	3,065.5	3,296.0	3,400	3,443		多面的機能支払交付金事業のなかで事業周知や実施依頼を行い前年比147haの増加となりました。	達成

2 区民の健康意識の醸成に努め、特定検診受診者数の増加を図ります。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
3	健康福祉課	区民の健康づくりへの関心を高め、区民の特定健診受診者数を増やします。	・ミニドック型集団健診の実施(5会場7回実施) ・健診受診申込・PR等のコミ協への委託とまんがによる健診PR	ミニドック型集団健診受診者数(人)	262	356	360	400	404	特定健診受診率 H28 34.4% H29 36.3% H30 36.1% R 1 30.6%(R2.3.5現在)	ドック型集団健診の受診者は目標達成でしたが、血管年齢測定者は新型コロナウイルスの影響を受け、3月の測定者が減少したため、目標にはわずかに届きませんでした。	概ね達成
4	健康福祉課	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。	・地域の茶の間の充実 ・身近な生活支援体制の構築	地域の茶の間 設置件数(件)		58	60	63	63	今年度末には63を目標とする	支えあいのしくみづくり会議、推進員と連携しながら、地域への働き掛けや茶の間新設のための講座を開くなどの取組みを行った結果、目標とする63件の設置件数を達成することができました。	達成
5	健康福祉課	子育て中の保護者を応援し、子育ての不安解消を図ります。	・子育て支援リーダースキルアップ研修の開催 ・子育て広場の開催	子育て支援リーダーの人数(人) 新メンバーを年度内に1人増員する	17	18	20	21	20	子育て支援リーダースキルアップ研修会を実施し、課題を上げて今後の活動に生かし、新たなメンバーを育成する。	新規1名がリーダーとなったものの、就労による脱退者が1名おり、増減がありませんでした。	概ね達成

3 コミュニティ協議会やにいがた南区創生会議などとの協働を深めるとともに、区内公共交通の利便性向上などに取り組むことにより、まちなかの活性化を図ります。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標	
6	地域総務課	区内の生活交通を維持するとともに、より利便性を高めます。	・区バス運行事業 ・住民バス補助	区バス利用者数 乗合タクシー利用者数 利用者計(人)	26,452 2,170 計28,622	26,675 2,735 計29,410	25,816 2,030 計27,846	26,000 2,000 計28,000	25,382 1,840 計27,222	区バス 7ルート(25便) 乗合タクシー 郊外7エリア⇄大野仲町・白根中心部	・区バスは高齢者の利用が増回傾向にあるものの、通学利用の小学生・高校生が減少した影響により、目標を達成できませんでした。 ・乗合タクシーは、新規の利用客が伸びず、固定客の利用も減少しました。	概ね達成	
7	地域総務課	コミュニティ協議会やにいがた南区創生会議などの自立に向けた取り組みや区の将来像を検討する組織の活動を支援します。	・コミュニティ懇談会等の開催 ・にいがた南区創生会議全体会、交通部会の開催	コミュニティ懇談会等の開催回数	10	11	12	12	12		・7月7日～8月17日の期間で、区内全12コミ協においてコミュニティ懇談会を開催することができました。	達成	
			・にいがた創生会議全体会・各部会等へ参画回数		—	29	39	40	50	全体会、正副会長・部会長会議、まちなか活性化部会、交流推進部会、交通部会など	・全体会・正副会長部会長会議・各3部会の開催。4月～8月:20回 9月～3月:30回 合計50回 ・公共交通結節点の検討や賑わい創出など、南区の課題解決に向けて連携して取り組みました。また、まちづくり学習会を通じて、まちづくりの担い手となる新たな人材発掘・育成に取り組みました。		
8	建設課	旧国道8号の道路空間利用形態を検討する。	・旧国道8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」と一緒に検討し、イベントを開催する。	・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)を6回開催 ・イベントを1回開催	—	8	6	6	14	1	・道路空間利用について、自転車道ネットワークや活性化につながる利用形態について検討する。	まちなか活性化部会の会議は、目標を上回る14回開催。イベントは取りやめ、ゲストとの対話による官民連携学習会「寄合」を3回実施し、まちづくりに取り組むプレイヤーの発掘、育成と令和2年度実施予定の将来ビジョン作成に繋げた。	達成

4 地域の特産品のブランド化を推進するとともに、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
9	産業振興課	農業・商業・工業の連携により農業の6次産業化・12次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります	・南区レクチエブランディング事業 ・南区おもてなし力向上プロジェクト	民間等と協働により開発した新商品数(品)				4	9		<ul style="list-style-type: none"> ■南区レクチエブランディング事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ピエールエルメコラボメニュー(12月) ・ピエールエルメコラボメニュー(2月) ■南区おもてなし力向上プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・白根子行進曲関連商品 5品 <ul style="list-style-type: none"> 甘酒・手ぬぐい・缶バッジ・掛け時計・シロネコッタ ■しろね仏壇プロモーション ・キャビネット ■南区ビジネスプランコンテスト ・凧つこ13人衆壁掛け時計 	達成
10	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・南区拠点商業地活性化推進事業計画の推進 ・民間団体等との協働 ・空き店舗及び空き家の有効活用	空き店舗及び空き家の活用数(件)			3	3	5	<ul style="list-style-type: none"> <拠点商業地内空き店舗活用> H27:6件、H28:5件、H29:2件 <区内空き店舗・空き家活用> H30:3件、H31:5件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストハウスぐるぐる ・Libe Bal (リベバル) ・白根子行進曲に係る活用 <ul style="list-style-type: none"> 旧泉三呉服店 旧飯原時計店 旧泉源商店 	達成
11	健康福祉課	障がい者(施設)が、地元の農産物を加工・販売することで、就労意欲を促し自立へ向けた取組を支援します。	・安定した加工品の製造 ・販路の確保 ・PR手法の検討	販売店舗の数		16	17	18	19	販路の支援	消費期限が比較的長い商品(「もち麦」)について、中央区内2つの店舗に販路拡大しました。	達成

5 南区の農産物や観光資源、地域固有の文化資源等を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
12	地域総務課	区の持つ広報媒体をフルに活用し、区政情報や、区の魅力などを効果的に発信していきます。	・区役所だより発行事業 ・区のホームページの運営 ・区公式PRツイッターの運営 ・市政情報モニターの運営	区の年間棚入れ数(件) 区公式PRツイッターフォロワー数合計	- (16)	56	61	65	68	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年実績等から毎月見込みを立てて、個別具体的な案件について棚入れするよう呼びかける。 ・平日はほぼ毎日、ツイッターから区の情報等を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関への棚入れやツイッター等による情報発信回数を増やすため、情報発信の有効性を分かりやすく説明したチラシを作成し、各課に情報提供を働きかけ目標を達成することができました。 	達成
13	産業振興課	南区の農産物や観光資源を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。	・南区観光協会との連携 ・観光農園とレストランパスとの連携 ・しろね大風と歴史と館等観光施設との連携	南区観光協会Facebookフォロワー数(件)	1,209	1,494	1,733	1,900	1,857	(参考フォロワー数) サポーターズクラブ1,453、マリンピア1,264、いわむろや 1,441	積極的に情報発信をした結果、昨年ほどではないが順調にフォロワー数が増えた。しかし、当初目標値にわずかに足りなかった。	概ね達成
14	地域総務課	文化施設(重要文化財旧笹川家住宅・しろね大風と歴史の館)の一体的な管理及び活用に努め、利用の促進を図ります。	・魅力をPRするイベントの実施 ・しろね大風と歴史の館の管理	重要文化財旧笹川家住宅 しろね大風と歴史の館 入館者計(人)	5,859 22,649 計28,508	5,050 18,576 計23,626	6,470 16,369 計22,839	6,000 19,000 計25,000	6,138 17,348 計23,486	・しろね大風と歴史の館(H29年度より産業振興課から所管替え)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧笹川家住宅の入館者数は、プロジェクションマッピングを使用したイベント「光のタペ」の開催等により目標を達成しました。 ・しろね大風と歴史の館は、昨年度と比較して入館者が増加したものの、目標は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標を達成できませんでした。(前年度比979人増) 	概ね達成